

# 3. 令和3年度 決算について

# 議会での決算審査の流れ

予算  
編成



予算  
審査



予算  
執行



決算  
審査

総括  
質疑

決算特別  
委員会



本会議

# 令和3年度決算

# 賛否結果

	決算特別委員会	本会議
一般会計	認定 (賛成6：反対1)	認定 (賛成9：反対3)
国民健康保険事業 特別会計	認定 (賛成6：反対1)	認定 (賛成11：反対1)
後期高齢者医療 特別会計	認定 (賛成6：反対1)	認定 (賛成11：反対1)
介護保険事業 特別会計	認定 (賛成5：反対2)	認定 (賛成8：反対4)
下水道 事業会計	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)

# 令和3年度各会計決算 概要

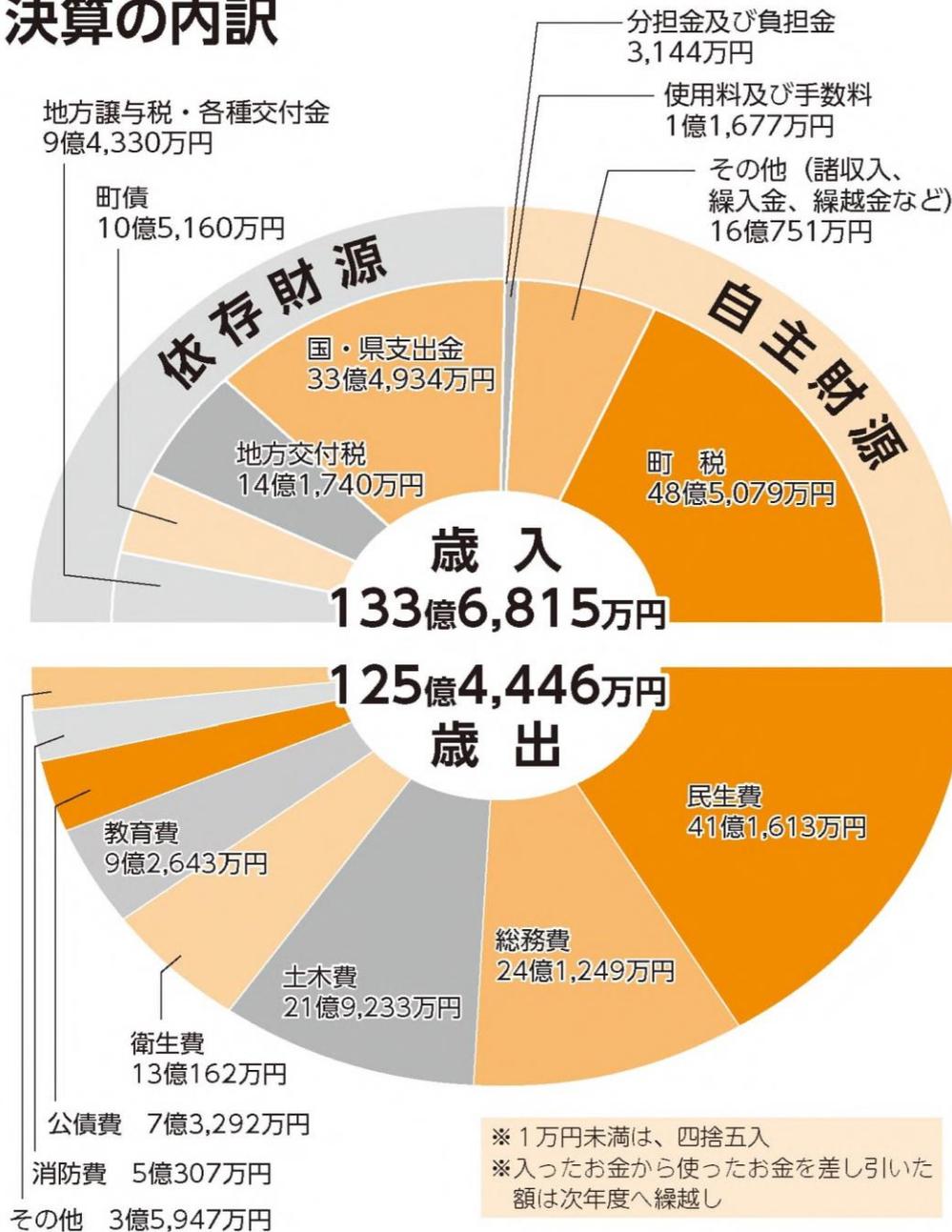
会計別	歳入	歳出	差引額
一般会計	133億6815万円	125億4446万円	+ 8億2369万円 (7億9,559万円)
国民健康保険事業 特別会計	35億8,342万円	35億2,248万円	+ 6,094万円
後期高齢者医療特 別会計	10億2,965万円	10億1,717万円	+ 1,248万円
介護保険事業特別 会計	33億986万円	31億648万円	+ 2億338万円

下水道事業会計	収入	支出	差引額
収益的収支	9億8,692万円	8億9,007万円	+ 9,685万円
資本的収支	12億9,611万円	15億9,141万円	- 2億9,530万円

収益的収支・・・下水道使用料、維持管理費、減価償却費など

資本的収支・・・下水道管や処理場施設の整備・改良、整備のための企業債など

# 決算の内訳



# 主な基金の現在高(一般会計)

単位：千円

区分	令和3年度末 現在高	令和2年度末 現在高	増減
町民会館建設基金	141,440	141,431	+ 9
土地開発基金 (現金分のみ)	265,529	265,525	+ 4
<b>財政調整基金</b> (現金分のみ)	<b>1,493,791</b>	<b>1,146,953</b>	<b>+346,838</b>
<b>公共施設整備基金</b>	<b>924,297</b>	<b>764,615</b>	<b>+159,682</b>
みどり基金	92,568	92,313	+255
地域福祉基金	94,543	93,884	+659
横溝千鶴子記念障 害福祉基金	69,538	69,534	+ 4
<b>本庁舎建設基金</b>	<b>1,094,236</b>	<b>894,190</b>	<b>+ 200,046</b>
その他の基金計	851,453	836,041	14,912
合 計	5,027,395	4,304,986	722,409

# 「町債の残高」と「積立金の現在高」

85億円

## 一般会計の町債



43億円

## 一般会計の積立金



平成20年 平成21年 平成22年 平成23年 平成24年 平成25年 平成26年 平成27年 平成28年 平成29年 平成30年 令和元年 令和2年 令和3年

町債の残高 積立金の現在高

# 令和 3 年度の主な事業

# 公園トイレ改修事業 2,071万円



山王町児童遊園トイレ

# 高規格救急車購入事業

## 3,385万円



# 郷土資料館施設整備事業 *4,607万円*



# 小学校施設整備事業

大磯小学校手洗い場自動水栓交換工事 318万円

国府小学校手洗い場自動水栓交換工事 727万円



# 避難所トイレ整備事業

## 1,152万円



# 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 総額 1 億 4,667 万円 主な充当額

## ●電子計算機維持借上事業

**1,662万円**

公衆無線LAN (Wi-Fi) 等の整備、テレワークやWEB会議の推進に向けた整備を行った。

## ●避難所トイレ整備事業

**1,152万円**

避難者の分散利用のためのバリアフリートイレ等の整備を行った。

## ●商工業振興対策事業

**1,193万円**

小規模事業者等への持続化給付金の支給、利子補給補助金の交付、地元商品消費促進を図るためのリーフレット作成等を行った。

## ●本庁舎等維持管理事業

**157万円**

トイレ手洗い場自動水栓交換等、トイレの洋式化を行った。

## ●大磯町子育てファミリーエール商品券支給事業

**4,323万円**

子育て世帯へのファミリーエール商品券の支給を行った。

## ●図書館資料整備事業

**496万円**

電子書籍の貸出に向けた整備を行った。

# 決算特別委員会での討論

## 主な反対討論

- 町民の同意を得られていない事業は問題がある
- 公共施設利用率が低く税金の無駄遣い。
- 国保の出産育児一時金は、近隣産科の情報を得て検討を進めることが必要、また基金の積み立てが進む一方、子供の均等割軽減が国施策内にとどまった
- 社会福祉協議会の包括支援センターは機能が低下した

## 主な賛成討論

- 総合計画の初年度としての計画が概ね実行された
- 財政指標が改善された
- 町税収入未済額が減少し評価する
- キャッシュレス収納の準備やコンビニ収納等の推進を評価する
- 道路維持において90%を超える町民要望対応を評価する
- コロナ禍においても予算どおりの執行に努められた点を評価する。

# 本会議での討論

## 主な反対討論

- 基金の積立てに問題がある
- 予算の余らせすぎは問題
- 道路工事等の町民要望は100%するのは当たり前
- 社会福祉協議会についての町長答弁は問題
- 大磯らしい施策に工夫を加えて進めてほしい

## 主な賛成討論

- コロナ禍での予算執行は適正であった
- 現年度課税分の徴収や滞納整理の取組みを評価する
- コンビニ収納は町民の利便性につながった

# 決算特別委員会の総意

1. 大磯町社会福祉協議会への適切な指導、監督が充分だったとは言えない状況であったため、令和4年度に実施される地域包括支援センターのプロポーザル選考を含め、公正・適切な選考とともに福祉行政の立て直しをお願いしたい。
2. 公共施設の有効利用を図るため、施設の統廃合や必要な条例改正を行い利用率の向上を図ってほしい。